

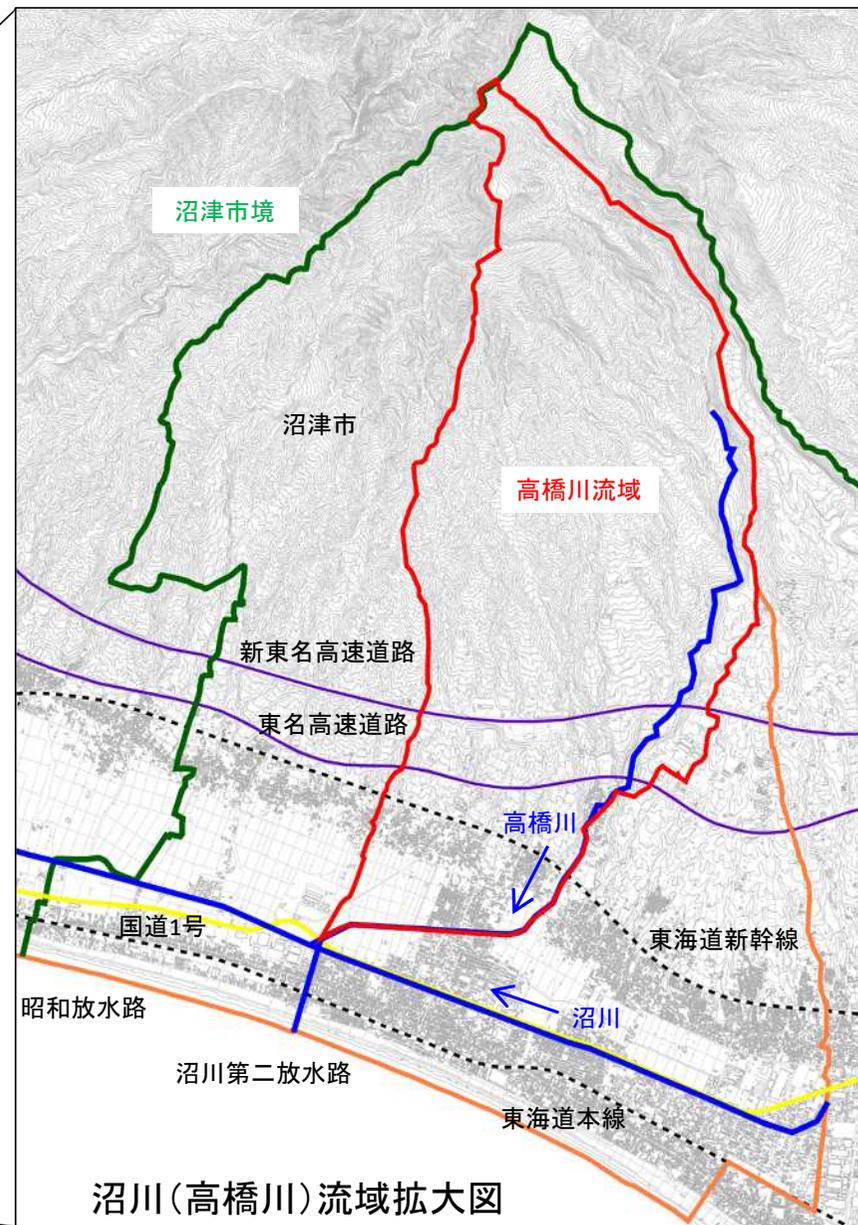
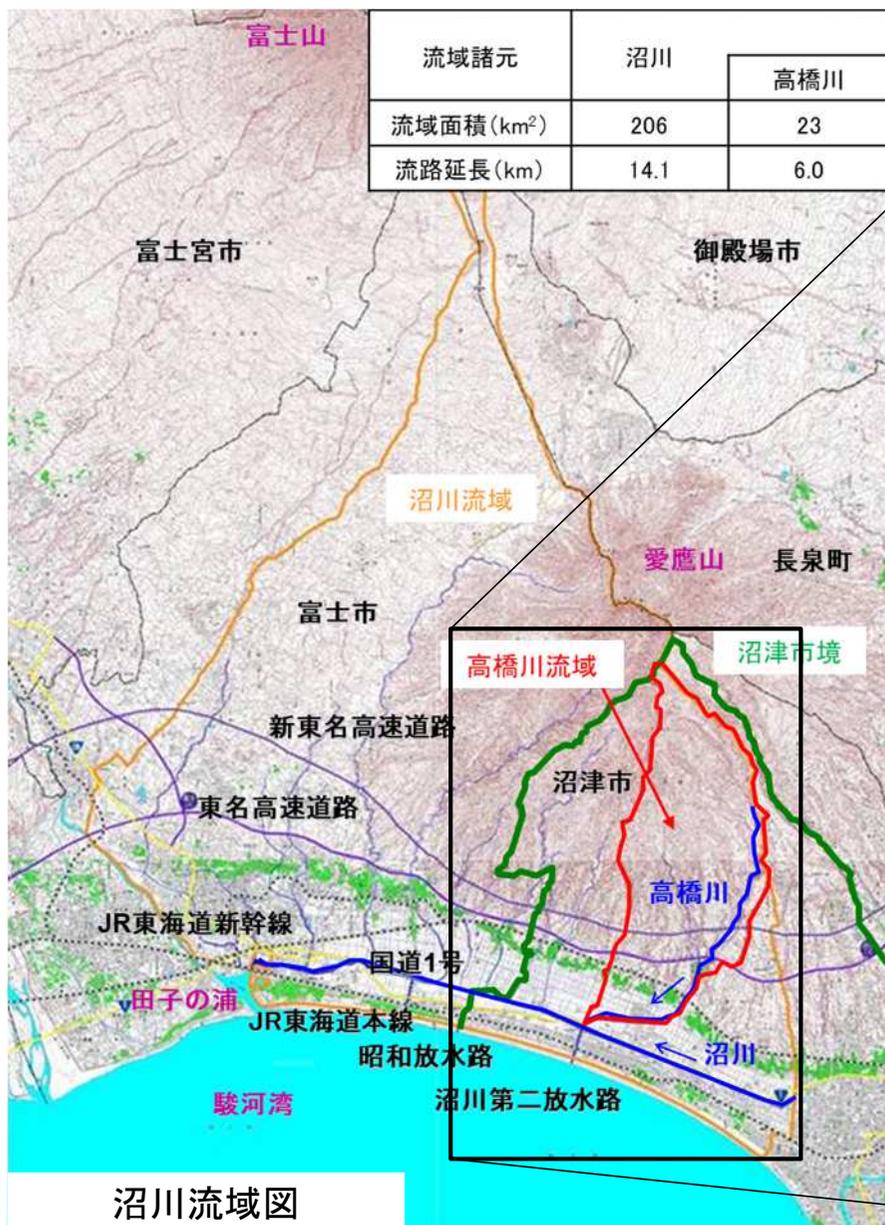
沼川（高橋川）流域治水協議会

流域及び流域の浸水被害の概要

令和 4 年12月

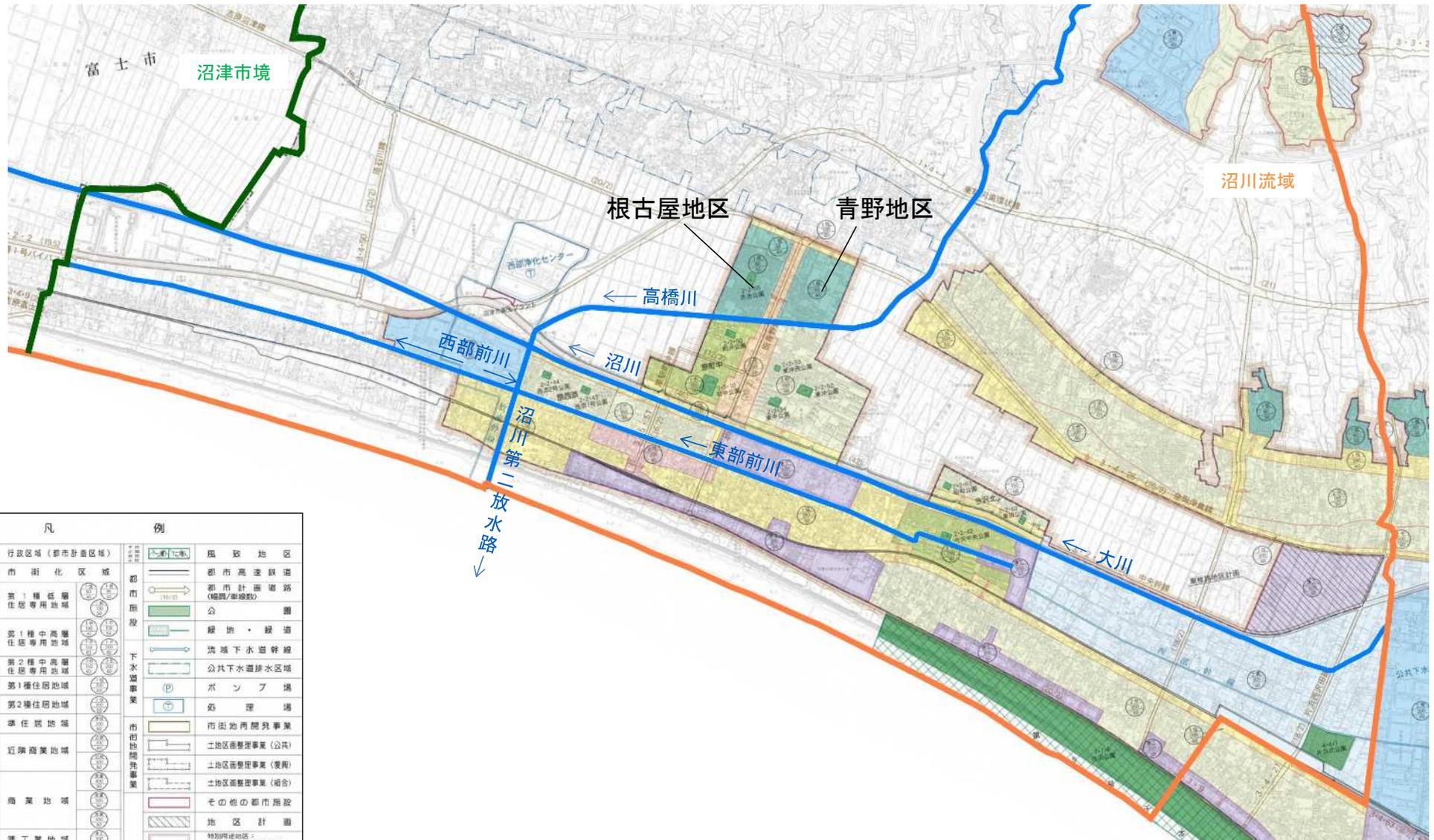
1. 沼川（高橋川）流域の概要

- 沼川は、愛鷹山麓に源を発し、田子の浦港(富士市)をへて、駿河湾に注ぐ流域面積206km²、流路延長約14.1kmの一級河川である。
- 高橋川は、愛鷹山麓から流下する沼川の支川であり、流域面積23km²、流路延長約6kmの一級河川である。
- 沼津市に属する沼川流域(沼川上流域)区域では、台風等の襲来により浸水被害が多発している地域である。



1. 沼川（高橋川）流域の概要

- 高橋川は、河川の中流域(根古屋地区、青野地区等)が市街化区域に指定されている。
- 沼川は、左岸側のすべてが市街化区域に指定されている。

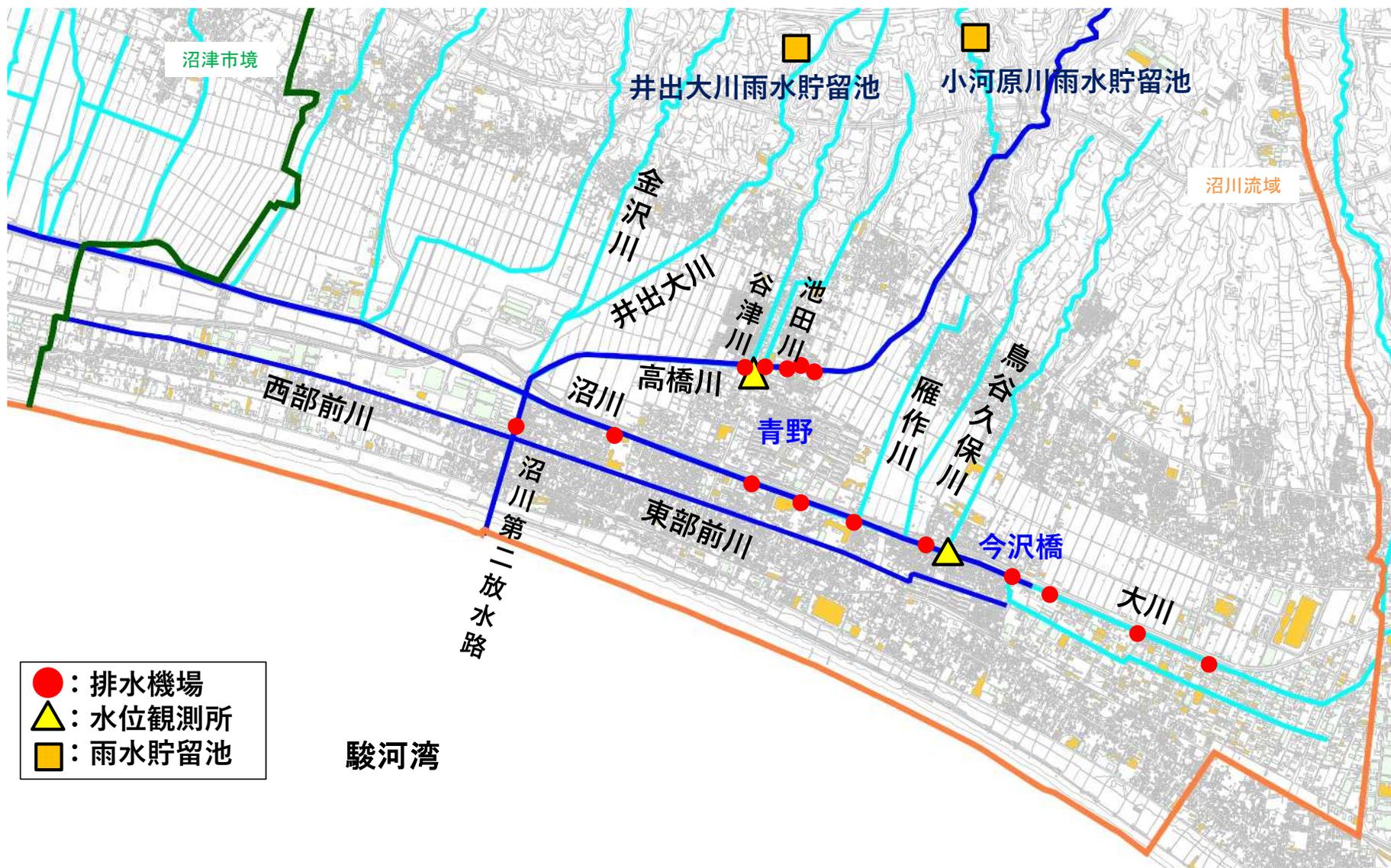


凡	例
行政区域(都市計画区域)	風致地区
市街化区域	都市高速鉄道
第1種低層住居専用地域	都市計画道路(幅員/車線数)
第1種中高層住居専用地域	公園
第2種中高層住居専用地域	緑地・緑道
第1種住居地域	流域下水道幹線
第2種住居地域	公共下水道排水区域
準住居地域	ポンプ場
近隣商業地域	処分場
商業地域	市街地再開発事業
準工業地域	土地区画整理事業(公共)
工業地域	土地区画整理事業(復興)
工業専用地域	土地区画整理事業(相合)
	その他の都市施設
	地区計画
	特別用途地区
	大規模集約型計画地区
市街化調整区域	
市街化調整区域内の目標率・建%・V率による区域区分	

出典: 沼津市 都市計画総括図

2. 沼川（高橋川）周辺の状況

- 高橋川には、4つの普通河川(井出大川、谷津川、池田川、小河原川)が合流し、小河原川の上流には小河原川雨水貯留池が、井出大川の上流には井出大川雨水貯留池が整備されている。
- 沼川上流域の東側では、2つの普通河川(雁作川、鳥谷久保川)が合流し、県管理区間より上流は普通河川の大川となっている。
- 高橋川との合流部に位置する沼川第二放水路には2つの普通河川(東部前川、西部前川)が合流している。
- 排水機場は高橋川合流部より上流では、高橋川沿いに5箇所、沼川沿いに9箇所、沼川第二放水路沿いに1箇所設置されている。



3. これまでの取組（豪雨災害対策APなど）

- 高橋川流域では、度重なる台風等の襲来により浸水被害が多発しており、特に床上浸水が頻発している青野地区の浸水被害解消を目的に、流域一体となってハード・ソフト対策を取り組む、「沼川(高橋川)流域豪雨災害対策アクションプラン」を平成20年3月に策定している。
- 上記の取組により、平成26年10月台風では、対象洪水(H19.7洪水)を上回る降雨であったにもかかわらず、床上浸水戸数は1/5に減少し、対策効果が発揮された。

【実施した主な対策】(ハード対策)

1-2) 高橋川の河道改修(水位低下対策)

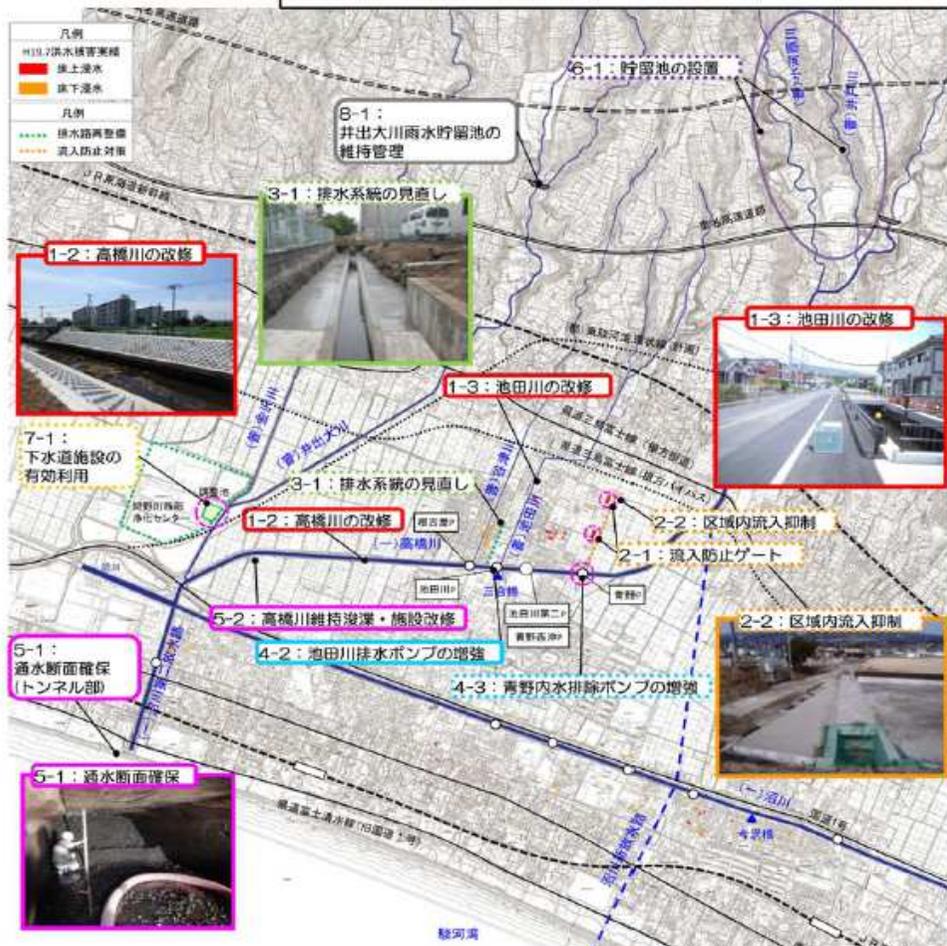
実施主体：静岡県
完了年度：H29
実施箇所：1.0~1.9k区間
L=920m

【事業概要】
平成19年7月洪水では、高橋川の三合橋上下流で越水が生じた。当該地区は、河床高が局所的に高い区間が存在するため、1.0~1.8k付近を掘削し、流下能力を確保した。



対策メニュー

対象区域：高橋川流域青野地区 公表年月：H20.3
対象洪水：H19.7洪水 対象期間：概ね10年間
目標：床上浸水概ね解消



1-3) 池田川の改修(水位低下対策)

実施主体：沼津市
完了年度：H24
施設概要：L=575m

【事業概要】
青野地区に集中する雨水を高橋川へ適切に排水させるため、池田川を改修した。



6-1) 高橋川上流部雨水貯留池設置

実施主体：沼津市
完了年度：H30

【事業概要】
上流部での流量カット効果により、下流域への水位低減を図るため、小河原川において雨水貯留池を整備した。



アクションプランの効果

平成26年10月の台風18号では、県内各地に大雨が降り、時間最大雨量については平成19年の観測値の約1.3倍の雨量が観測された。しかし水位低下対策により床上浸水戸数を1/4に減少させることができた。



3. これまでの取組（豪雨災害対策APなど）

- ハード対策は、一部未実施のものが残るものの、ソフト対策は、当初予定していた対策※のすべてのメニューが完了している。
- 平成20年から10年間にわたり実施してきたアクションプランの取組の結果、当初目標であった「床上浸水の概ね解消」を達成した。
- このことから、「沼川・高橋川アクションプラン」は完了とし、未完了メニューの進捗管理については、「東部地域豪雨災害減災協議会」で実施していくこととしている。

※洪水ハザードマップの作成・配布、水位情報の提供、ポンプの運転調整、水防活動の充実、水害意識の啓発及び避難対策

【実施した主な対策】（ソフト対策）

1-2) ハザードマップの作成

実施主体：沼津市

完了年度：H24完成(R3更新)

【概要】

ハザードマップを作成・配布、付近住民への周知徹底することにより、地域の防災意識を高め、水害の被害を最小限に抑えた。

なお、現在県管理河川において、浸水想定区域図を更新中のため、この更新を受けて、再度ハザードマップを作成する予定である。



3-1) ポンプの日常点検

・監視システム設置

実施主体：沼津市

完了年度：H29（監視システム設置）

【概要】

ポンプの日常点検や操作記録の記載、監視システムの設置を行った。

ポンプの運転調整ルールの検討を行い、適切に内水排除できるようにした。



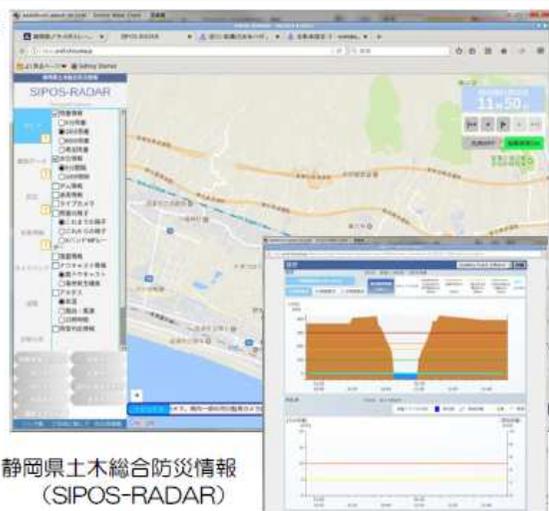
2-1) 河川情報（雨量・水位）の提供

実施主体：静岡県

完了年度：H23

【概要】

雨量や河川の水位情報をきめ細かく収集し、浸水の危険性の常に監視・把握し、水防管理者や地域住民に情報提供することにより浸水被害を最小限に抑えた。



4-1) 水防活動の充実

実施主体：沼津市

完了年度：継続的に実施

【概要】

土嚢の備蓄、水防活動用の資機材の備蓄等を行った。



4. 近年の浸水被害状況

■家屋の浸水被害が最も多く発生したのは、令和3年7月洪水であり、床上浸水戸数は166戸にのぼる。高橋川の青野地点では氾濫危険水位(T.P+3.00m)を上回るT.P+5.19mの水位を記録した。

■令和3年7月洪水の沼川流域平均雨量373.9mmは、沼川流域の計画降雨量301.6mm、さらに気候変動を考慮した降雨量331.8mmを超える雨量となっていた。

流域平均雨量と被害状況の整理結果

洪水名	対象雨量	3時間雨量		24時間最大雨量		浸水被害(戸)※		観測ピーク水位	
		雨量(mm)	確率	雨量(mm)	確率	床上	床下	青野	今沢橋
H19.7洪水	沼川流域平均	78.0	1/3~1/5	273.6	1/20~1/30	25	99	4.93	4.07
H26.10洪水	沼川流域平均	94.3	1/5~1/10	265.7	1/20~1/30	5	45	4.77	4.05
R3.7洪水	沼川流域平均	93.4	1/5~1/10	373.9	約1/400	166	128	5.19	3.94

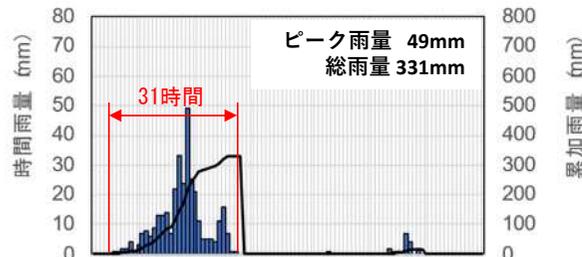
※浸水被害戸数は、高橋川、沼川周辺の地区で集計

平成19年7月 台風4号

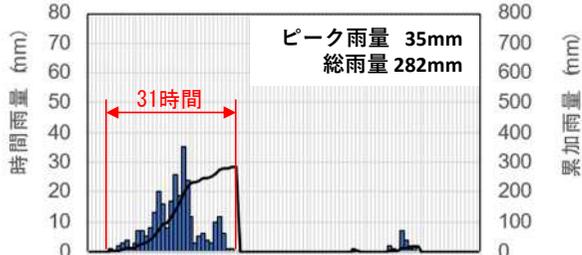
平成26年10月6日台風18号

令和3年7月 前線豪雨

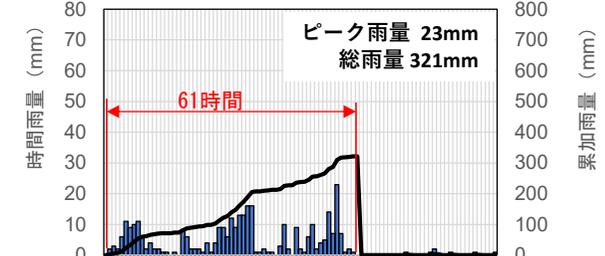
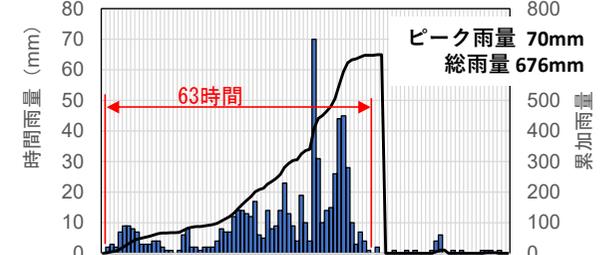
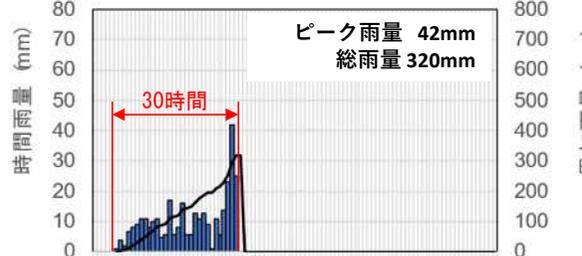
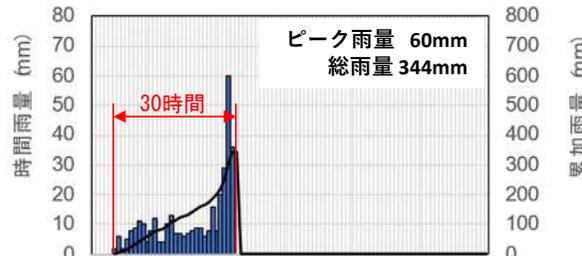
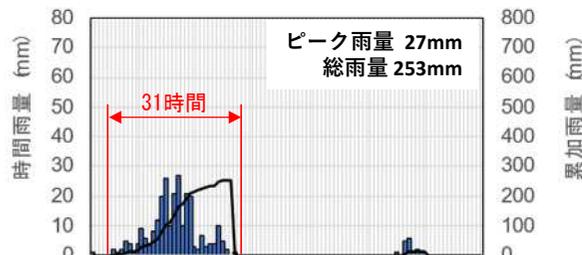
西船津



愛鷹



沼津

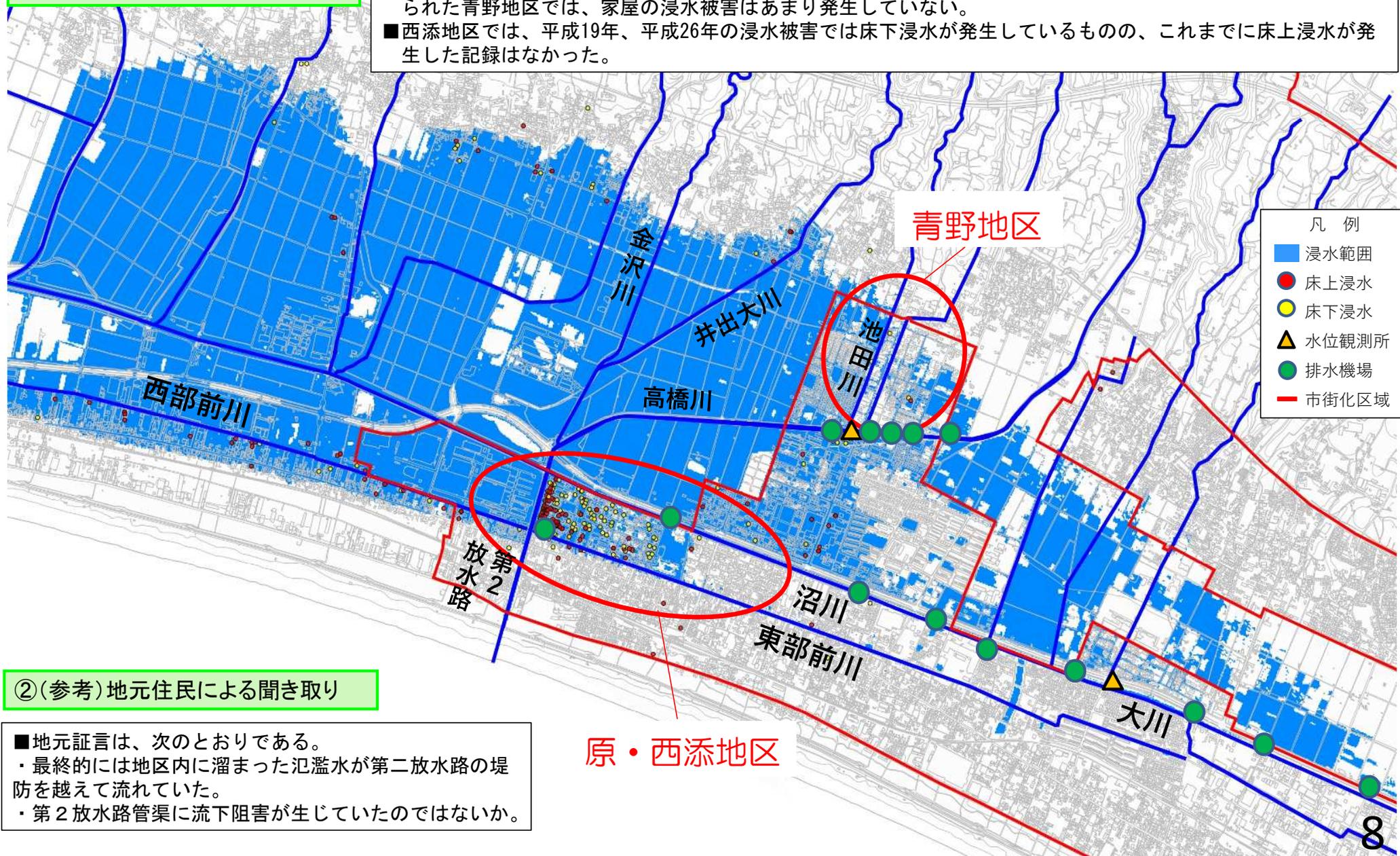


5. 令和3年7月洪水による被害状況

■家屋の浸水被害が最も多く発生した令和3年7月洪水の浸水被害や浸水過程に関する情報は次のとおりである。

①浸水被害について

- 令和3年7月洪水では、西添地区を中心に床上・床下浸水が発生している。対照的にアクションプランが進められた青野地区では、家屋の浸水被害はあまり発生していない。
- 西添地区では、平成19年、平成26年の浸水被害では床下浸水が発生しているものの、これまでに床上浸水が発生した記録はなかった。



②(参考)地元住民による聞き取り

- 地元証言は、次のとおりである。
- ・最終的には地区内に溜まった氾濫水が第二放水路の堤防を越えて流れていた。
- ・第2放水路管渠に流下阻害が生じていたのではないか。